



日本共産党粕江市議員  
鈴木 忍

## 鈴木えつお



「浸水ゼロ」をめざして  
水害対策の抜本強化を

**問** ①河川掘削等で計画高水位以下とは何m以下なのか  
②止水板等の設置助成を  
③エアコン等被災家財・家電の独自支援を。

**答** ①具体的な数字は示されていません  
②研究して今後考えていく  
③災害見舞金などを実施。現状では家財等までの対応はできない。

**問** 重度障がい者のご家族が高齢になって介護で

重度障がい者のご家族が高齢になって介護で

きなくなったときの入所施設が市内にない。ゼビグループホームを早急に整備を。

**答** 現在検討を進めている。早期の実現を目指す。

**問** 猪駒通りの交通安全対策の強化を

**答** 猪駒通りは朝夕、交通量が大きく大型車もスピードを上げて通る。小学生の接触事故もあつた。ゼビ一層の安全対策を。

**問** 出来る範囲の対策は継続的に進めるとともに、運転者への働きかけなどソフットの対策を調布警察署と連携し検討していく。

**答** 出来る範囲の対策は継続的に進めるとともに、運転者への働きかけなどソフットの対策を調布警察署と連携し検討していく。



日本共産党粕江市議員  
岡村 しん



新型コロナウイルス感染症対策について

**問** ①学童の待機児がいる中、Kokoa中止は保護者、子どもともに大変

どのように考えているか  
②濃厚接触者の定義は③市役所、学校、保育園でマスク、アルコール消毒液、湿度管理、手洗い指導について同

④避難所のマスク、アルコール消毒液の備蓄はいくつあるか  
⑤福祉避難所の備蓄は⑥市内医療機関のマスク、アルコール消毒液はそろっているか  
⑦市内事業者へつなぎ融資の検討を

⑧対策を進める決意を伺う。

**答** ①臨時休校で全児童が登校しない状況に鑑み中止と判断  
②患者と同一住所の接触者、感染予防策なしで分泌物などに接触した者等  
③入口に消毒液設置と職員マスク着用。湿度は50%に保つことが重要。注意喚起等で周知  
④各避難所に大人用200枚、子ども用100枚、消毒液1ℓ入り2本  
⑤マスク備蓄は無い  
⑥不足しており6千枚を貸与。消毒液は2月20日時点であると確認  
⑦過去突発的事態において支援。状況を見極め対応  
⑧市民の健康と生命を第一に考え進める。



日本共産党粕江市議員  
宮坂 良子

## 宮坂 良子



安心して利用できる  
介護保険に

**問** ①介護保険から外された総合事業の訪問型Aの認定ヘルパー研修の参加数と登録数  
②従前と比較し専門職と認定ヘルパーの報酬比率  
③利用が増えるのと保険料に跳ね返る。公費負担を増やすことを国へ求めて

**答** ①参加者130名、延登録者28名  
②有資格者1回あたり242単位、報酬比較88・8%、市の認定ヘルパー研修受講者1回あたり211単位、報酬比較77・3%  
③既に全国市長会から要請している。

**問** 加齢性難聴者への補聴器購入に助成を

**答** ①加齢性難聴は日常生活を困難にし、認知症のリスクもある。市の見解は②予防には早期に補聴器が必要、しかし高くて買えないという高齢者に助成を  
③認定補聴器技能者と呼んで「聞こえの相談室」を。



日本共産党粕江市議員  
西村 あつ子



市民サービスの向上へ  
Parts

**問** ①子育て・教育支援複合施設利用者から、駅地下駐車場利用の減免要望がある。考えは。

②学校給食について。③重要性が増している。テスト期間中の提供を④提供する意義は。

**答** ①障害者手帳の交付を受けている方は粕江駅北口地下駐車場が減免となり、同様に考えている  
②給食費の引上げ、教員の負担増が懸念  
③福祉的な側面を担っていることは認識。

④私立園情報も周知確保に努める  
⑤他自治体の状況も確認し今後の対応を検討  
⑥今後の制度見直しの検討  
⑦課題と認識  
⑧慎重さは必要だが中期的視点で検討  
⑨自体を否定するものではないと考える。



粕江市議会公明党  
山田 幸子

## 山田 幸子



安心して子育てができる環境を

**問** ①ひとり親家庭支援に取組んできた事  
②どのような支援策があるのか  
③少子化が市にもたらす影響は④多子世帯への支援策は⑤夜間保育所のニーズと今後の取組みは⑥5歳児健診について市の認識を伺う。

**答** ①31年度相談員増員  
②給付金支給や資金貸付等  
③市民サービス需要等へ影響、社会保障費増加等  
④保育園給食の副食費補助  
⑤ニーズは少なく検討項目  
⑥就学前に発達障害を発見し就学後不適応を減らす支援。

**問** 2040年までの市の高齢化率の推移  
②世代間交流の効果  
③世代間交流が双方にもたらすメリットは④今後どのように介護施設と交流を図っていくのか。

**答** ①2024・5%、30年26・7%、40年33・1%  
②見込み  
③市民まつり等に参加。シニアの絵本読み聞かせ講座等実施  
④若年層は人生設計等、高齢層は認知症予防効果等を期待  
⑤介護ボランティアポイント事業や若者と交流等拡大を検討。



粕江市議会公明党  
小野寺 克己



相談窓口の充実で犯罪被害者等支援の推進を

**問** ①地域の人に知られない場所  
②相談できるよう  
③プライバシーに十分配慮した工夫について伺う  
④支援相談窓口や相談先がわかるパンフレットを活用し誰でも手に取れるよう周知啓発について伺う。

**答** ①相談場所、方法等に配慮などの課題と合わせて検討が必要  
②国、都等が作成のパンフレットを活用し、日常段階からも周知啓発を行っていく。

①今後検討を進める  
②市全体の方針に従い進める。



粕江市議会公明党  
石川 和広

## 石川 和広



令和2年度市長所信表明について

**問** ①新年度のスタートにあたり、市長の政治信条も含め、どのようなスタンス・姿勢で自治体経営に臨まれていくのか  
②市政課題を具体的にどのように捉え、向き合い、有効な手立てを講じていかれるのか。

**答** ①基本姿勢は「一人にやさしいまちづくり」の実現。そのために粕江のシビックプライドを育てていく  
②今、取り組めることを着実に進め、効果を見極めながら改革・変革に向けた取り組みを続ける。

**問** ①産後ケアについての取り組み状況は②産後ケアのあり方についての考えは③認知症施策推進の最も肝要となるポイントは④障がい福祉サービスにおいて基幹相談支援センター設置への取り組みを図るべき。

**答** ①実施していない  
②調布市では母親の身体の休養、母体ケアの指導等を実施しており検診③認知症の理解促進と共生のまちづくりを行っていくこと  
④必要性は認識。主任相談支援専門員の活用も含め、検討。



粕江市議会公明党  
佐々木 貴史



安全・安心なまちづくりについて

**問** ①特殊詐欺について昨年と一昨年の被害状況は②昨年の被害で目立った手口は③キャッシュカード詐欺とはどういう手口か  
④本年は被害が少ないとのことだが特別な取り組みがあったか  
⑤ゲーム依存症は私たちの暮らしにスマホが必要な時代では誰もが陥る危険があるが粕江市の現状は⑥今後について成人と子どもへの対策は⑦多摩川土手の天端舗装について市の考え方とこれまでの経過は⑧今後の予定と整備内容は。

**答** ①昨年28件、約5200万円、一昨年30件、約1億3600万円の被害  
②キャッシュカード詐欺③犯人が用意した封筒にカードと暗証番号のメモを入れさせ封印の印鑑を取りに行く際にすり替える  
④自動通話録音機貸与、防災行政無線等で注意喚起  
⑤統計はとてないが昨年、精神科医に相談いただいた  
⑥正しい理解と周知。SNS東京ノート等を活用した指導充実等  
⑦安心安全等から整備が必要。平成29年度に国と共同で約600m整備  
⑧国による整備、市で保水性舗装等。

①今後検討を進める  
②市全体の方針に従い進める。

